

2025年1月16日

輸送動向について（2024年度第3四半期 累計）

1. 輸送概況

国内景気は、円安や原材料コスト高騰を反映した物価上昇が続き、個人消費の回復に足踏みが見られるものの、全般的には緩やかな回復基調が続いている。当社においては、台風10号接近・上陸や、輪軸組立作業における不正行為等の影響が大きかったものの、2024年問題等を踏まえた鉄道シフトの進展により、輸送実績は前年を上回った。

コンテナは、食料工業品が、記録的な猛暑に伴い、清涼飲料水及びビール類を中心に需要が旺盛となったことや一部顧客における鉄道シフトの取組み等により好調な荷動きとなり、前年を上回った。紙・パルプは、ペーパーレス化の進展に伴う紙の需要減が続く中、鉄道シフトや安定した出荷により増送となった。エコ関連物資は、中央新幹線建設工事に伴う発生土の運搬や令和6年能登半島地震の災害廃棄物の輸送等により増送となった。コンテナ全体では前年比102.3%となった。

車扱は、石油が、長期連休における移動需要増加等によりガソリン及び軽油が好調な荷動きとなったほか、セメントは、顧客における定期修繕計画の変更等により前年実績を上回った。車扱全体では前年比101.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比102.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	3四半期計		前年比	3四半期累計 (年度累計)		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	5,122	4,858	105.4%	13,901	13,582	102.3%
車扱	2,327	2,138	108.9%	6,104	6,019	101.4%
合計	7,449	6,996	106.5%	20,005	19,602	102.1%

3. 品目別輸送実績表（第3四半期累計）

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,147	1,135	11	101.0%
	化学工業品	1,173	1,153	20	101.7%
	化学薬品	810	817	-6	99.2%
	食料工業品	2,381	2,269	112	105.0%
	紙・パルプ	1,574	1,504	70	104.7%
	他工業品	885	936	-51	94.5%
	積合せ貨物	2,411	2,395	16	100.7%
	自動車部品	542	526	16	103.1%
	家電・情報機器	287	266	20	107.6%
	エコ関連物資	350	285	65	122.9%
	その他	2,335	2,291	43	101.9%
コンテナ計	13,901	13,582	318	102.3%	
車扱	石油	4,238	4,140	97	102.4%
	セメント・石灰石	1,006	991	14	101.5%
	車両	582	578	3	100.6%
	その他	277	308	-30	90.2%
	車扱計	6,104	6,019	85	101.4%
合計	20,005	19,602	403	102.1%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)